

課 長	係 長	精 算	設 計	浄 書
-----	-----	-----	-----	-----

金 抜 設 計 書

令和 2 年度

水産物供給基盤機能保全事業

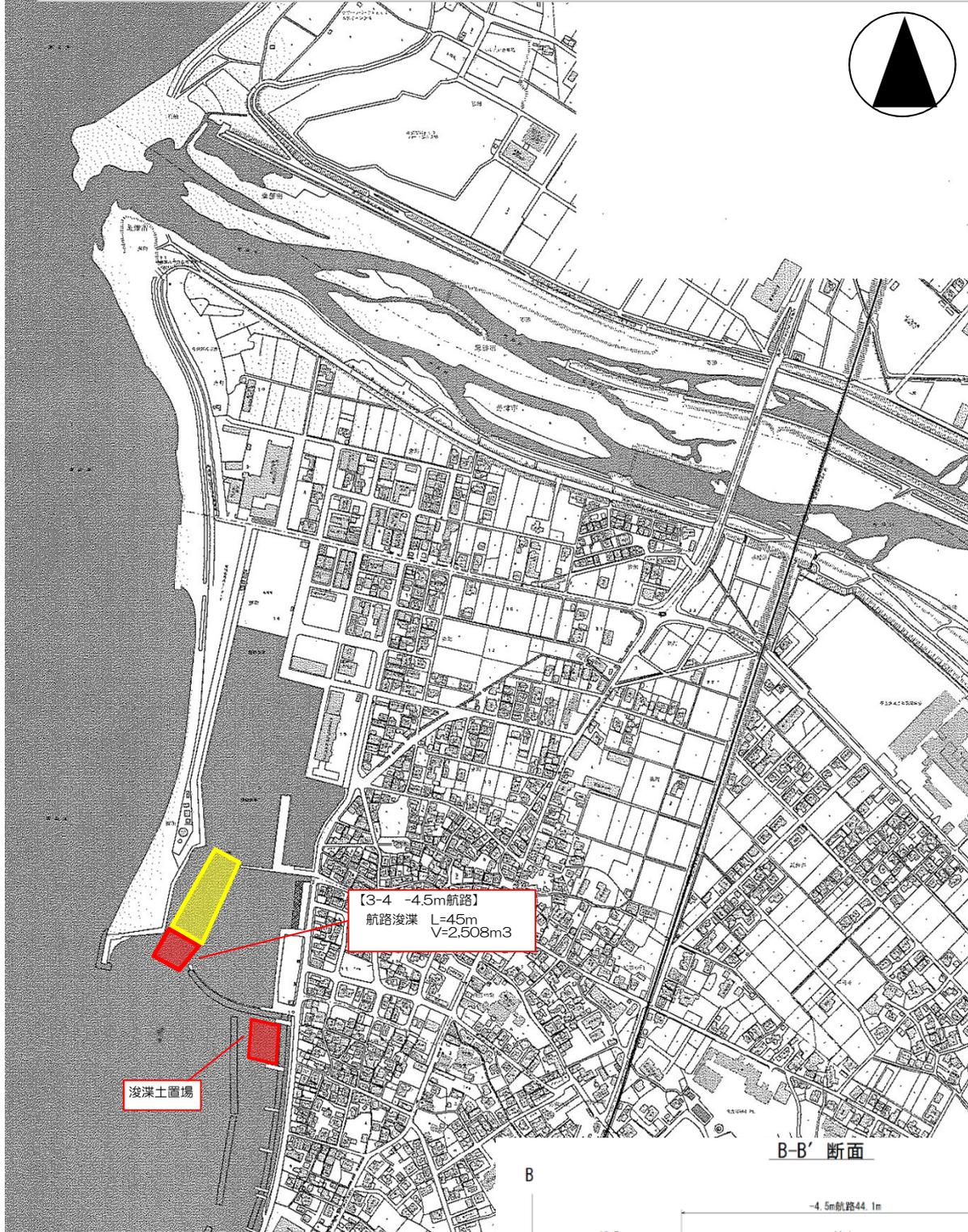
経田漁港浚渫工事

設計書

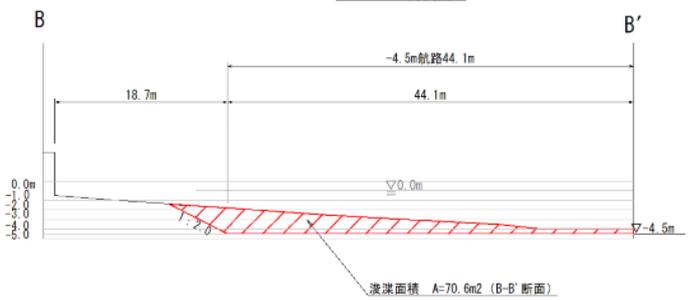
施工箇所 魚津市 東 町 地内

魚津市産業建設部農林水産課

# 水産物供給基盤機能保全事業 経田漁港浚渫工事 施工箇所位置図



凡 例	
<span style="display:inline-block; width:15px; height:10px; background-color:red; border:1px solid black;"></span>	R2年度施工箇所
<span style="display:inline-block; width:15px; height:10px; background-color:yellow; border:1px solid black;"></span>	R3年度以降計画箇所



# 特記仕様書

R2 水産物供給基盤機能保全事業  
経田漁港浚渫工事

(総則)

第1条 この特別仕様書は、当工事の仕様書として「富山県土木部土木工事共通仕様書」によるものとし、共通仕様書 1-1-2 第6項に基づき、当該工事に必要な事項について定めるものとする。

(施工計画書)

第2条 契約締結後速やかに施工計画書を提出し、監督員の承諾を得なければならない。

(安全管理)

第3条 工事期間中は、労働安全衛生法等関係諸法規に基づき安全確保とあわせて、工事の円滑なる推進に努めなければならない。  
(現場での安全管理については細心の注意を払い、1日の作業開始前には必ず、日工程、安全確認等の打合せを行うものとする。)

(現場条件)

第4条 当該区域の関係者と協議の上、工事に支障をきたす事の無いよう施工計画を作成しなければならない。

(下請関係の適正化)

第5条 本工事の一部を下請負に付す場合は、「建設工事の下請関係の適正化に関する留意事項」を遵守すること。

(公害及びトラブル防止対策)

第6条 工事の実施によって、一般海岸利用者や地域住民、漁業関係者等から苦情が生じることのないように、騒音や粉塵、汚濁水流出防止等の必要な対策を講ずること。またトラブルの未然防止のため、関係者や関係団体との協議、調整を適時に実施すること。

(土質調査)

第7条 土砂の浚渫前に土質調査を実施し、海上保安部へ届け出ること。調査は国土交通省が定めた「浚渫土砂の海洋投入及び有効利用に関する技術指針」に基づき実施するものとする。

(土砂の浚渫、運搬、運搬先)

- 第8条
- 1 土砂の浚渫にあたっては、事前に漁業協同組合と打合せを実施すること。
  - 2 土砂の運搬にあたっては、事前に漁業協同組合と打合せを実施すること。
  - 3 土砂の運搬先は、魚津市経田西町地内の経田海岸地先とする。

(海上、海中作業)

- 第9条 海上、海中作業を開始する前には、海上保安部へ届け出ること。

(市内企業振興)

- 第10条
- 1 本工事の施工にあたり、工事の一部を下請業者に発注する場合は、できる限り市内業者へ発注すること。
  - 2 下請業者に発注する場合は、適正な価格及び期間内にて請負い代金を支払うこと。
  - 3 工事資材及び建設機械の購入等についても、できる限り市内業者を選定すること。

(その他)

- 第11条 この特別仕様書に定めなき事項について疑義が生じた場合は、必要に応じて監督員と協議するものとする。

工 事 名	水産物供給基盤機能保全事業 経田漁港浚渫工事
工 事 費	金 円也
摘 要 欄	<p>工事概要</p> <p>3-4 -4.5m航路        施工延長 L=45.0m        航路浚渫        グラブ浚渫</p> <p style="text-align: right;">V= 2,508 m<sup>3</sup></p>

# 総括情報表

事務所 設計書名 変更回数	0001 魚津市 実施設計書 当初 0		
適用単価 適用単価地区 単価適用年月日	1 実施単価 05 魚津地区 0-02.09.15(0)		
諸経費体系	1 公共		
	当 世 代		前 世 代
前払率 諸経費工種 労務費補正 電力区分 契約保証区分 消費税率 (%)	40 23 港湾浚渫 01 割増なし 02 臨時低圧電力 03 補正なし 10		

# 本工事費内訳表

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
本工事費									X1000	
航路・泊地・船だまり									Y1B01	
浚渫工									Y2B0101	
グラブ浚渫工									Y3B010103	
グラブ浚渫									Y4B01010301	
グラブ浚渫 (普通地盤用) 粘土質 N値 10未満				式					S8051 0 A=2, B=1, C=1, D=1, E=1, G=0.3, H=1, I=1, J=1	
	2,508			m3					施工 第0-0001号表	
整地 敷均し(ルース) 標準									SP2003 0 A=2, B=1	
	2,508			m3					施工 第0-0006号表	
直接工事費										
技術管理費									Z0006	

# 本工事費内訳表

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
土質等試験費									YZZ0601	
水底土砂流出等試験				式					W001	
共通仮設費 (率分)	1			式						
共通仮設費計				式						
純工事費										
現場管理費										
現場管理費計				式						
工事原価										
一般管理費等										

# 本工事費内訳表

	費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
工事価格						
消費税等相当額			式			
請負対象工事費						
工事価格計						
消費税等相当額計			式			
請負対象工事費計						

# 施工内訳表

[名称] グラブ浚渫 (普通地盤用)		[規格1] 粘土質 N値 10未満		[規格2]		1	m3	当り
名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備	考		
グラブ浚渫船運転 (普通地盤用) 就業10時間		日			S8119	施工 第0-0002号表		
揚錨船 (自航) 運転 就業8時間		日			S8115	施工 第0-0003号表		
土運船 (曳航) 運転 就業10時間 鋼製 650m3		日			S8117	施工 第0-0004号表		
引船運転 就業10時間		日			S8114	施工 第0-0005号表		
雑材料		%			#01			
1m3当り					+00			
**単位当り**	1	m3						
A=2 鋼製 D 5.0m3 C=1 普通 E=1 15m未満			B=1 粘土質 D=1 普通 G=0.3 往復平均えい航距離 (km)			N値 10未満		
H=1 1 J=1 アンカー式			I=1 土運船を計上 (引船を使用)					

# 施工内訳表

[名称] グラブ浚渫船運転 (普通地盤用)				[規格2]		1	日	当り
[規格1] 就業10時間								
名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備	考		
重油 A重油 (ローリー)		L			T3031			
船団長		人			R2085			
高級船員		人			R2025			
普通船員		人			R2026			
グラブ浚渫船 (普通地盤用) アンカー方式		時間			M2336			
浚渫船損料 (供用)		日			M2336			
**単位当り**	1	日						
A=2 C=1 アンカー式			B=1	1				

S8115

# 施工内訳表

施工 第0-0003号表

頁0-0007

[名称] 揚錨船(自航) 運転 [規格1] 就業8時間		[規格2]		1	日	当り
名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備	考
重油 A重油 (ローリー)		L			T3031	
高級船員		人			R2025	
普通船員		人			R2026	
揚錨船損料(運転)		日			M2324	
揚錨船損料(供用)		日			M2324	
**単位当り**	1	日				
A=2 C=1 アンカー式			B=1 1			



# 施工内訳表

[名称] 引船運転 [規格1] 就業10時間		[規格2]				1	日	当り
名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備	考		
重油 A重油 (ローリー)		L			T3031			
高級船員		人			R2025			
普通船員		人			R2026			
引船 (鋼製)		時間			M2216			
引船損料 (供用)		日			M2216			
**単位当り**	1	日						
A=11 C=1 1			B=1	2時間運転				

# 施工内訳表

[名称] 整地		[規格1] 敷均し(ルース)		[規格2] 標準		1	m3	当り
機械構成比: 31.34%		労務構成比: 57.26%		材料構成比: 11.40%		市場単価構成比: 0.00%		標準単価: 128.59
代表機	労材規格	構成比	単価	代表機	労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考	
ブルドーザ		31.34%		ブルドーザ			MH006	
普通作業員		32.83%		普通作業員 東京単価			R2006	
特殊運転手		24.43%		運転手(特殊) 東京単価			R2002	
軽油 (パトロール)		11.40%		軽油 東京単価 1.2号 パトロール給油			T3002	
積算単価				積算単価			EP001	
A=2	敷均し(ルース)			B=1	標準			

# 機 労 材 集 計 表

項番	単価 コード	集計 区分	単 価 値	数量累計	単 価 名 称	集 計 区 分 名 称
1	M2216	197			引船 (鋼製)	作業船損料
2	M2216	197			引船 (鋼製)	作業船損料
3	M2324	197			自航揚錨船	作業船損料
4	M2324	197			自航揚錨船	作業船損料
5	M2336	197			グラブ浚渫船 (普通地盤用) アンカー方式	作業船損料
6	M2336	197			グラブ浚渫船 (普通地盤用) アンカー方式	作業船損料
7	M2371	197			非航土運船	作業船損料
8	R2025	26			高級船員	高級普通船員
9	R2026	26			普通船員	高級普通船員
10	R2085	37			船団長	その他労務
11	T3031	67			重油	重油
12	WXXXX	967				

3-4 -4.5m航路 数量計算書





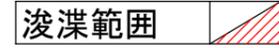


# 計画平面図

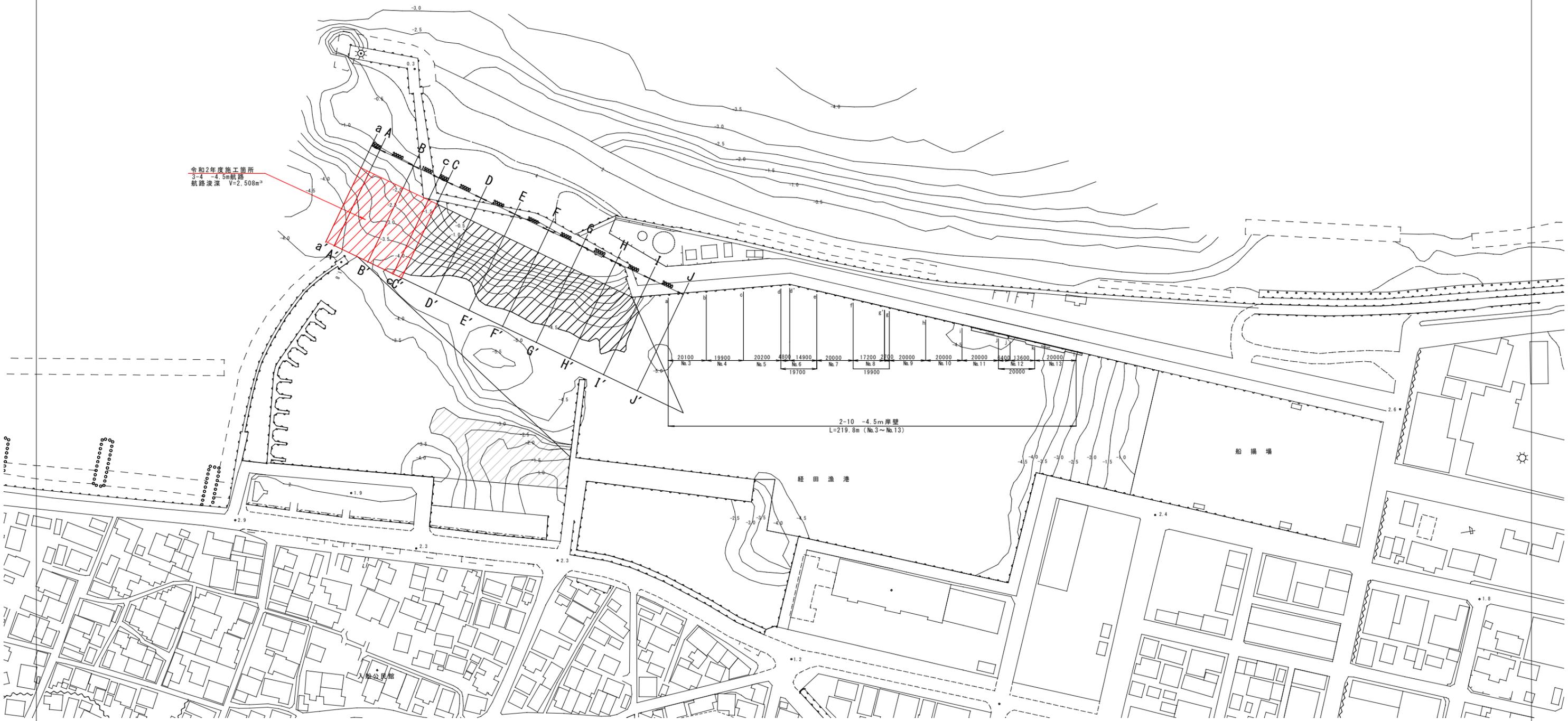
S=1:1,000



## 凡例



令和2年度施工箇所  
3-4 -4.5m航路  
航路浚渫 V=2,508m<sup>3</sup>

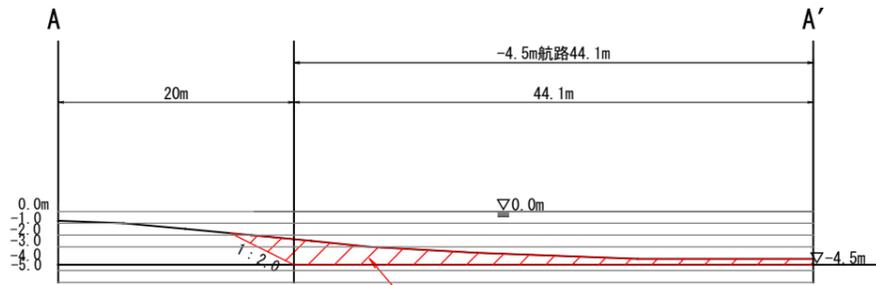


工事名		図面番号
水産物供給基盤機能保全事業 経田漁港浚渫工事		1
図面名称	計画平面図	
測量		
設計		
製 図	原図	
	複写	
魚津市産業建設部農林水産課		

# -4.5m航路 土工断面図

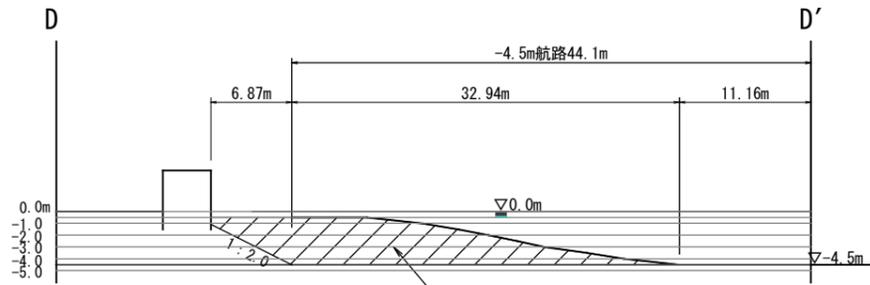
S=1:300

## A-A' 断面



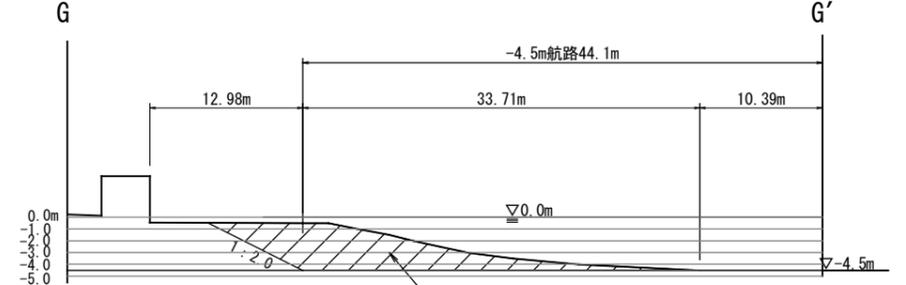
浚渫面積 A=42.4m<sup>2</sup> (A-A' 断面)  
A=0.0m<sup>2</sup> (a-a' 断面)

## D-D' 断面



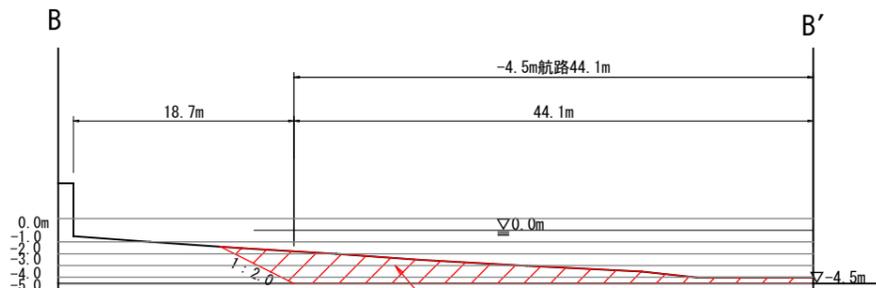
浚渫面積 A=93.1m<sup>2</sup> (D-D' 断面)

## G-G' 断面



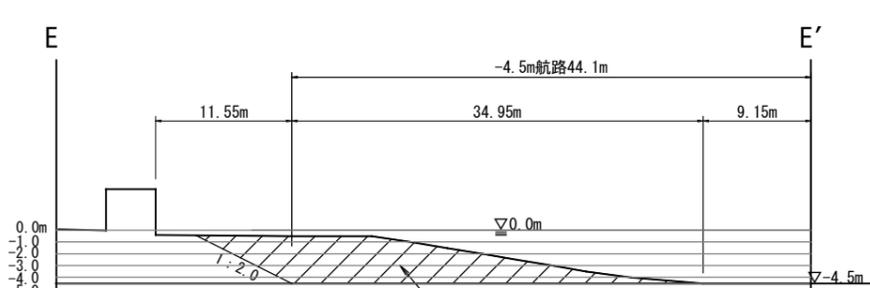
浚渫面積 A=69.4m<sup>2</sup> (G-G' 断面)

## B-B' 断面



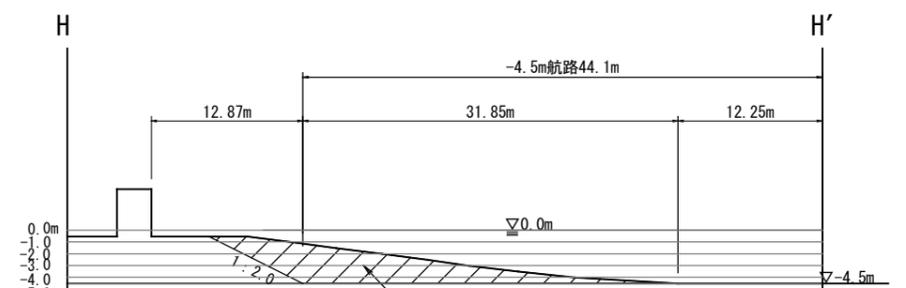
浚渫面積 A=70.6m<sup>2</sup> (B-B' 断面)

## E-E' 断面



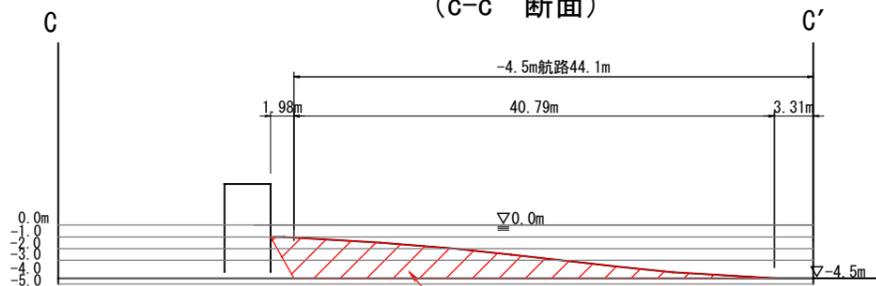
浚渫面積 A=94.0m<sup>2</sup> (E-E' 断面)

## H-H' 断面



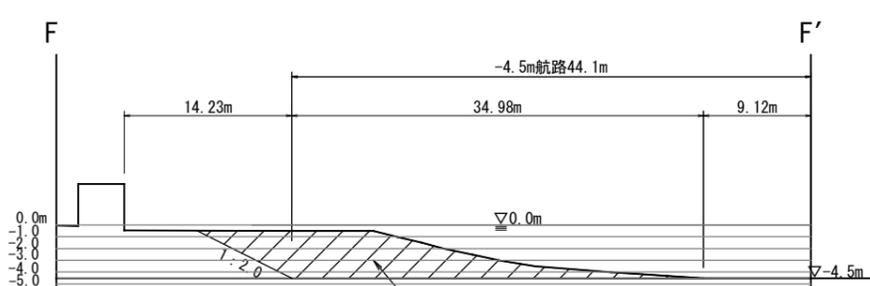
浚渫面積 A=60.1m<sup>2</sup> (H-H' 断面)

## C-C' 断面 (c-c' 断面)



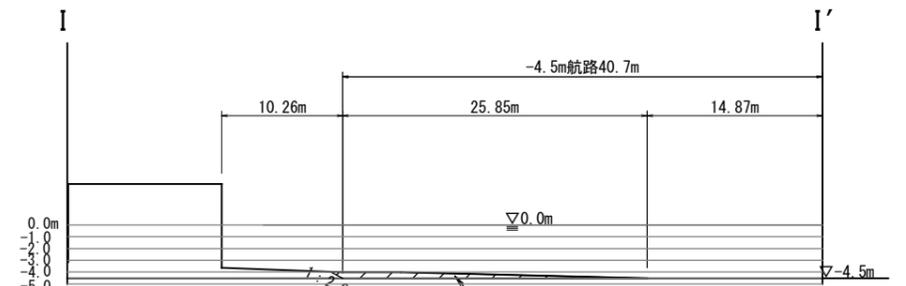
浚渫面積 A=0.0m<sup>2</sup> (C-C' 断面)  
A=74.1m<sup>2</sup> (c-c' 断面)

## F-F' 断面



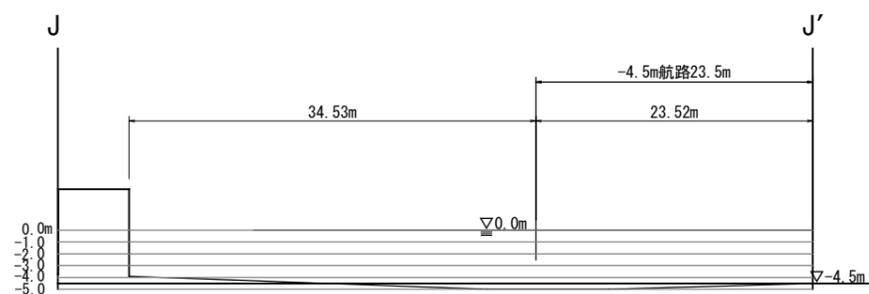
浚渫面積 A=83.7m<sup>2</sup> (F-F' 断面)

## I-I' 断面



浚渫面積 A=8.0m<sup>2</sup> (I-I' 断面)

## J-J' 断面



工事名	図面番号
水産物供給基盤機能保全事業 経田漁港浚渫工事	2
図面名称	-4.5m航路 土工断面図
測量	
設計	
製 図	原因 複写
魚津市産業建設部農林水産課	